

ヤッコソウに歓声

佐田山保護林観察ツアー

一月八日(土)、佐田山保護林(四万十署管内)観察ツアー(一九名)を行いました。これは、平成二八年から「山の日」(八月一日)が施行されるに伴う記念ツアーです。今回、局と四国仰山会(国有林退職者)との共催で実施しました。趣旨は国民の皆さまが森林に親しみ、自然とふれあうことで森林に対する理解を深めるもので、保護林「佐田山シイ林木遺伝資源保存林」を訪ねました。

当日は、シイなどの根に寄生するヤッコソウ(写真上)も見られ四万十署 森下主任 森林整備官から森林の働き、草花、佐田山の史実等の分かり易い説明(写真下)に、参加者からあたたかい言葉も頂きました。今後ともツアー等を通じて、国有林の取組等を広く伝えて行きたいと考えています。



誌上 森林環境教育

「森づくりと林業」

森づくりの大変さ、林業の大切さ、林業家、林業地域を例にまなぶ。

目標

林業家の努力する姿、いくつかの林業地の存在を知るとともに、貿易の自由化と林業との関係についても考える。

準備

有名林業地の地図と写真、日本や世界の森林分布図、スギの木材価格の変化図

手順

- ・林家のある地域やその源流域を確かめるとともに、そこから発する川の流れを図にしてみよう。
 - ・有名林業地を取り上げ、その特徴を調べてみよう。
 - ・日本の森づくりや林業の歴史を振り返りそこから得られる教訓を未来につなげよう。
- (大日本山林協会 日本の森林と林業より)

編集後記

はや師走。寒さに向かう季節に。「なぜ対策」も。この一年のご愛読に感謝。未年もよろしく願います。(スタッフ一同)



「エリートツリー」 って

エリートツリーの選抜基準

材積、幹の通直性、材の剛性、および雄花着花性の4つの基準。

- ・材積の基準は、選抜する検定林の全個体を1~5の5段階で相対評価を行い、4以上(偏差値55以上)であること。
- ・幹の通直性・材の剛性は、著しい欠点がないこと。
- ・雄花着花性は、花粉症対策の観点から着花量が多いものを除く必要があるため基準が定められている。

着花性の評価方法として自然着花とジベレリン処理による着花の2通りがある。自然着花では、対照個体10個体よりも着花量が少ないこと、ジベレリン処理による着花では、5段階の評価指数で4未満であることが基準となる。

(東北の林木育種 207号(独)森林総合研究所林木育種センタ 東北育種場)

局内でエリートツリーは、高知中部署(杉ノ熊山)、安芸署(矢筈谷山)で、林木育種センター関西育種場と共同試験地を設定し、精英樹、一般苗木等との植栽試験を実行中。